# Mizuho Weekly Market Report

12/18/2023
みずほ銀行東アジア資金部台北室

## 市場動向

■USD/TWD

■USD/JPY

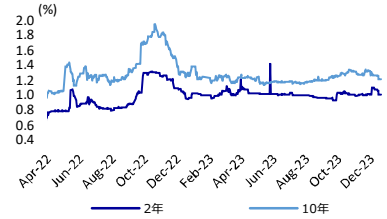
■JPY/TWD

■EUR/USD

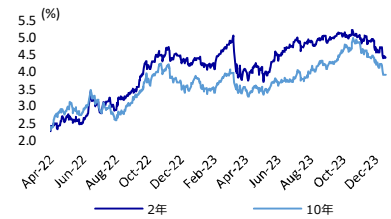
■USD/CNH

■台湾加権指数

■台湾国債利回り




■米国債利回り




## 先週の市場動向

■USD/TWD

先週のドル/台湾ドルは下落。週初12/11は31.430でオープン後、前週末に発表された米11月雇用統計が市場予想を上回る結果となったことから米金利が上昇し、ドル買いが優勢な展開となり31.50台前半まで上昇した。12/12は、米国、台湾における中銀会合を控えて動意に欠ける展開となり、31.50を挟み揉み合いの推移。12/13は、前日発表された米11月CPIが前月比わずかに上昇していたことから、来年以降の米国利下げ織り込みが剥落し、ドル買いが優勢な展開となり一時31.535まで上昇した。12/14は、13日のFOMCで来年以降の利下げが示唆されたことで米金利が急速に低下していたことを受けて、ドル売りが優勢な展開となり31.20台後半まで下落。引けにかけてはドルを買い支える動きが見られ、31.30台前半での推移となった。12/15は、台湾加権指数が1年9か月振りの高値を更新する中、外国人投資家による台湾株買いが見られ、一時31.230まで下落した。最終的には前週比0.3%ドル安台湾ドル高の31.268で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式買い越し額は699.4億台湾ドル。

■USD/JPY

先週のドル/円は下落。週初12/11は144.88でオープン後、米国雇用市場の強さが意識された他、海外時間の米国債入札を控えて債券需給環境の悪化が意識され米金利が上昇する中、ドル買いが優勢な展開となり一時146.58まで上昇した。12/12は米金利の上昇が一服する中、ドルが売り戻され、145円を挟み揉み合いの推移。12/13はFOMCにおいて発表された来年以降の政策金利見通しが前回対比多くの利下げを示唆する内容となったことで米金利が急速に低下したことを受けて、ドルが大幅に売られ142円台後半まで下落した。12/14は、米国の来年以降の利下げを織り込む形で米金利が低下を続ける中、ドル売りが加速し一時140.95まで下落した。その後は米金利の低下が一服すると、ドル/円も方向感に欠ける展開となり142円を挟み揉み合いの推移。12/15は19日の日銀金融政策決定会合を控えて円金利が上昇する中、円買いが優勢となり141円台半ばまで下落。しかし、海外時間に米国地区連銀総裁のウィリアムズより「利下げについて話すのは時期尚早だ」との発言が聞かれ、米短期金利が上昇に転じると、ドル買いが優勢となり142円台前半まで上昇した。最終的には前週比1.9%ドル安円高の142.21で先週の取引を終了。

## 今週の見通し

■USD/TWD　予想レンジ：31.100-31.400

今週は上値の重い推移を見込む。米国利上げサイクル終了が意識される中、ドルは売られやすいであろう。

■USD/JPY　予想レンジ：139.50-143.50

今週は下落を見込む。米国利上げサイクルの終了が意識される中、ドルが売られやすいことに加え、19日に控える日銀金融政策決定会合において来年以降のマイナス金利撤廃や、利上げ等の金融引き締めを示唆する内容が確認される場合、円買い圧力が強くなるであろう。

## 今週の予定

| | |
|---|---|
| 12/18 (MON) | |
| 12/19 (TUE) | 日銀金融政策決定会合 |
| 12/20 (WED) | 日11月貿易収支、台湾11月輸出受注、米12月消費者信頼感指数 |
| 12/21 (THU) | 米12月フィラデルフィア連銀景況感指数 |
| 12/22 (FRI) | 日11月CPI、台湾11月失業率、米11月PCE、米11月耐久財受注 |

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようにお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。